



www.b4s.jp



親を頼れないすべての
子どもが
笑顔で暮らせる社会へ

親を頼れないすべての
子どもが
笑顔で暮らせる社会へ

一緒に応援しませんか

子どもたちの巣立ちをご寄付により支えてください。
ブリッジフォースマイルへのご寄付は、税制優遇の対象になります。
ご寄付のお申し出は、電話、メール、ウェブサイトにて承ります。



Tel: 03-6842-6766 (平日10時-18時)

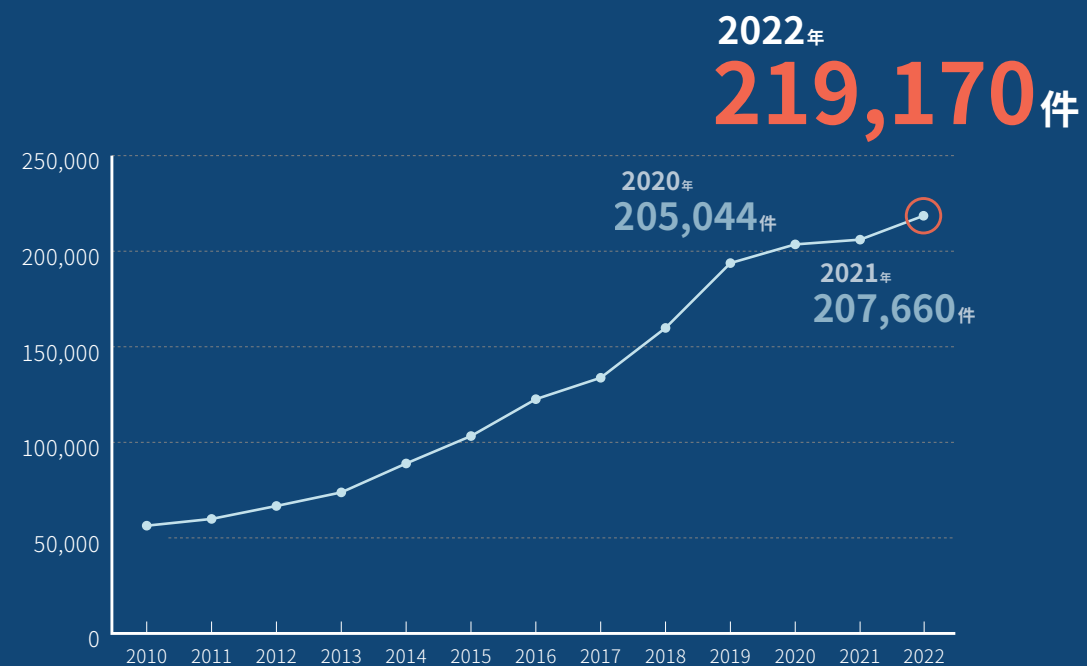
Email: info@b4s.jp

URL: <https://www.b4s.jp>

認定 NPO 法人ブリッジフォースマイル
〒107-0062 東京都港区南青山 3-1-30
PASONA SQUARE
東京都認定 NPO4 生都管 第 1117 号

増え続ける虐待

親から守られることのない
子どもたちが存在する



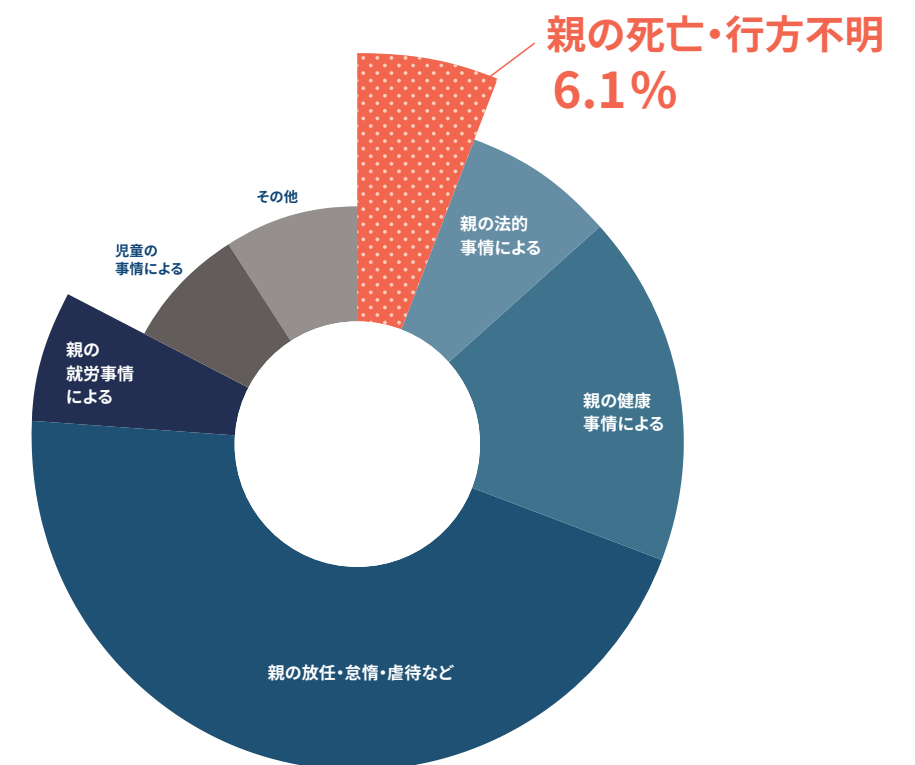
外からは見えにくく、干渉しづらい家庭内での虐待。虐待と「しつけ」は違う、という認識が広まるにつれ、児童相談所への虐待相談件数は増える一方です。虐待は子どもの身体と心に深刻なダメージを与えます。本来は守ってもらえるはずの親から虐待を受けたことで、子どもたちは、精神的なよりどころを失い、その後の人生にも大きな影響を受けます。

グラフ出典:令和4年度 児童相談所における児童虐待相談対応件数:こども家庭庁

親を頼れない子どもたち
約42,000人

対象児童数出典:社会的養育の推進にむけて資料(令和6年4月):こども家庭庁

その9割以上に親がいる

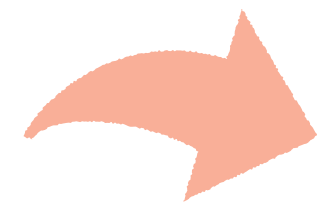


親を頼れない子どもの多くは、児童養護施設や里親家庭など「社会的養護」と呼ばれる公的な仕組みのもとで暮らします。社会的養護に至る理由のうち、親の死亡・行方不明は約6%と1割以下。放任、怠惰、ネグレクトなどを含む「虐待」が約5割を占めています。虐待に加え、親の精神疾患や病気で入院、受刑中など、社会的養護のもとにいる子どもの多くは親がいても、親を頼ることができません。

グラフ出典:児童養護施設入所児童等調査の概要(令和5年2月1日現在):こども家庭庁

「家に帰ってもホッとできない」
「親は自分を守ってくれない」

なぜ、こんな思いをする子どもがいるのか、一緒に考えてみませんか。



18歳の巣立ち

親を頼れない子どもたちの行く手を阻む
2つの「格差」



社会的養護下にいる子どもたちが 児童養護施設や 里親家庭などで過ごせるのは原則18歳まで。「実家」というセーフティネットがないまま 社会に巣立つ子どもたちのなかには、将来に希望を持てない子がたくさんいます。

巣立つ時に直面する

「安心の格差」

「親」というよりどこかのいない子どもたちは、
病気になった時、お金に困った時、
仕事を辞めた時などに、頼る先がありません。
「何があっても自分だけで
なんとかしないとならない」
という不安や孤独感を抱えて暮らしています。

巣立つ時に直面する

「希望の格差」

暴力や暴言、貧困などの経験が原因となり、
自分に自信が持てない子がたくさんいます。
自己肯定感が低いと、将来の夢を描いたり、
希望を持ったりすることもできなくなります。
子どもころの体験に、
大人になってからも支配されてしまうのです。

親を頼れない子どもたちは、「小さなつまずき」を
小さいうちに解決できず、深刻なトラブルに陥ります。

子どもたちが直面する「社会の大きな壁」を
まずは、知ることから！



親を頼れないすべての子どもが 笑顔で暮らせる社会へ

親を頼れない子どもたちが、
社会へ羽ばたく時に直面する
「安心の格差」と「希望の格差」を乗り越え、
未来へ向かう勇気を持てるような
支援をカタチにする

「実家」というセーフティネットを持たないことから生じる「安心の格差」。
将来に希望が持てず、羽ばたき続けるモチベーションを保てない「希望の格差」。
私たちは、子どもたちが巣立ちの時に直面する
2つの「格差」を乗り越えるために、以下の活動をしています。

①

親を頼れない子どもたちの 巣立ち支援

一人暮らし準備やキャリア形成のためのセミナー、居場所や住まいの提供、伴走支援、就労・転職サポートなど、子どもたちがスムーズに社会に羽ばたくことができるよう、巣立ち前から巣立ち後まで一貫した支援を行っています。

②

子どもを支える大人を増やす 伴走者の育成

私たちの「巣立ち支援」は、社会人ボランティアのみなさんに支えられています。ボランティア活動を安心かつ適切にできるよう運営体制を整えています。ボランティアや児童養護施設職員、里親向けのセミナーも行っています。

③

子どもを支える社会をつくる 広報・啓発活動

社会的養護への正しい認識と関心を広め、親を頼れない子どもたちが安心して巣立つことができる社会をつくるため、情報発信や広報活動、調査研究などを行っています。

私たちの活動 ①

親を頼れない子どもたちの 巣立ち支援

巣立ち後の生活を支援

一人暮らしの準備を手伝う

高校3年生向け一人暮らし準備セミナー 巣立ちプロジェクト



巣立ちを控えた高校3年生を対象とした半年間のセミナーです。複数の施設から子どもたちが集まり、社会人ボランティアと一緒に引越しの手続きや金銭管理、危険から身を守る術など、一人暮らしに必要な知識やスキルを学びます。初対面の人との関係の築き方を学んだり、巣立ち後に繋がる仲間をつくったりする場にもなっています。

一人暮らしの準備を手伝う

ポイントをためて生活必需品をそろえる トドクン



一人暮らしには、家を借りる初期費用に加え、家具や家電、スーツなどさまざまなものがが必要です。子どもたちは一人暮らしに向けアルバイトをして貯金をしています。トドクンは、寄付によって集めた生活必需品を、希望する子どもたちにマッチングする仕組みです。巣立ち支援プログラムに参加したためたポイントを、欲しい寄付品と交換することができます。

身近な理解者との繋がりをつくる

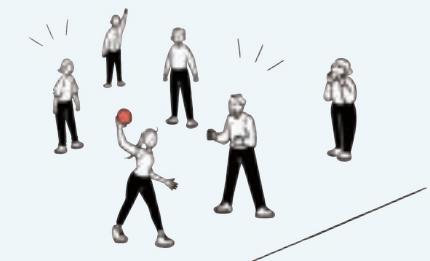
いつでも立ち寄れる居場所 B4S Port



私たちがもっとも懸念していることは、巣立ち後の孤立です。寂しい時、不安な時に「あそこに行けば、頼れる大人や仲間がいる」と思ってもらえ、気軽に立ち寄れる居場所として、「B4S Port よこはま」(横浜市受託事業)、「B4S Port さが」(佐賀県受託事業)、「B4S Port くまもと」(熊本県・熊本市受託事業)、「B4S Port しもきた」(世田谷区受託事業)、「B4S PORT あきば」(東京都受託事業)、「B4S PORT さっぽろ」(北海道受託事業)を運営しています。

身近な理解者との繋がりをつくる

同じ境遇の仲間と集うイベント アトモプロジェクト



子どもたちが仲間と繋がり続けるために、クリスマスパーティ、スポーツ大会などのイベントを開催しています。教養や趣味などをテーマとするセミナーも実施。関心を広げたり、自分磨きをしたりするきっかけを提供しています。子どもたちに向けたメールマガジン「アトメル」では、イベントのお知らせや生活情報、寄付の仲介などを配信しています。

巣立ち後の生活を支援

気軽に相談できる機会をつくる

ナナメの関係で気軽に話せる個別サポート
自立ナビゲーション



子ども一人に対し、専任のメンターボランティア（自立ナビゲーター）が付き、子どもたちに伴走し、大きく環境が変わる巣立ち後の生活を支えます。月1回面談を実施し、食事やショッピングなどをしながら、近況報告や生活、仕事のなかで抱える不安や悩みの聞き役になるほか、メールや電話でも定期的なコミュニケーションをとります。

安心できる住まいを提供する

シェアハウス・ショートステイ
スマイリングプロジェクト



親を頼れない子どもたちにとって、生活の基本である住居は自分で確保しなければなりません。ですが、契約にあたって保証人確保や初期費用準備などがハードルとなることが少なくありません。こうした子どもたちに、社会人同居者と一緒に住むシェアハウスや緊急避難的に生活できるショートステイ先を提供しています。

学費の不安を解消する

卒業まで定期的な面談を行う
奨学金支援プログラム



親を頼れない子どもたちは、高校卒業後は学費も生活費も自分で用意しなくてはならないため、進学率が全国平均に比べてかなり低いのが現状です。私たちは企業と連携し、給付型奨学金に、ボランティアによるメンター制度や金銭管理の見守り、金銭教育を組み合わせたユニークな奨学金支援を行っています。

困りごとを解決する

個別サポート・LINE 相談
相談支援

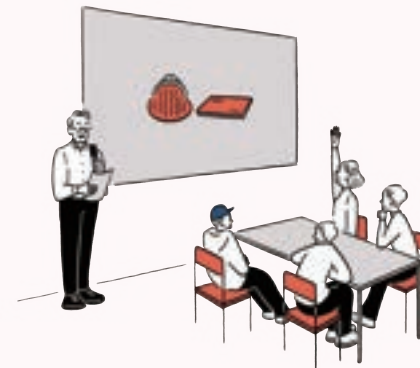


本人のニーズを把握し、主に住まいや仕事、交友関係、お金のやりくり、家事、将来への不安など、生活上の相談を行っています。相談者ひとりに対して B4S のスタッフやボランティアが担当として付き、必要に応じて行政機関や病院、福祉施設などへの同行や就労サポート、家庭訪問を通じた家事サポートにも対応しています。

巣立ち前の準備を支援

巣立ちの不安を解消する

社会人から楽しく学ぶ
自立支援セミナー



より多くの子どもの自立を支援するため、スタッフやボランティアが児童養護施設などに出向いて行う「出張セミナー」や、複数の施設や里親家庭の子どもを集めて行う「集合型セミナー」を全国で行っています。「遠方で巣立ちプロジェクトに参加できない」「一人で外出するのが不安」などの要望に応えています。

働くイメージを描く

多種多様な仕事体験
ジョブプラクティス

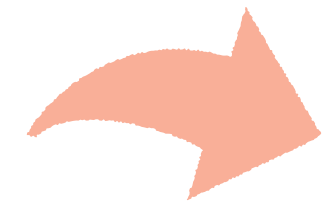


企業の協力を得て、オフィスや店舗で行う仕事体験です。働く人と接しながら仕事のイメージを描くことで、生活の基盤である「就労」におけるミスマッチを防ぐことを目的にしています。短時間、オンライン、数日間一人で仕事現場に通うものなど、さまざまな体験から選んで参加できます。



巣立ち支援の目的は、子どもたちが直面する、
安心と希望の2つの「格差」を解消すること

あなたにもできることがあります
探してみませんか



私たちの活動 ②

子どもを支える大人を増やす 伴走者の育成

スキルアップ研修

より良い支援を行うために、また、社会人ボランティアのみなさんに安全・安心に活動していただくために、多岐にわたるテーマで研修を行っています。児童福祉に関わる人にとっても役立つ内容になっています。

施設職員・里親セミナー

児童養護施設や児童相談所の依頼に応じて、施設職員や里親家庭を対象とした大人向けのセミナーを行っています。長年の支援で培ったノウハウを、子ども支援に携わる方にも活用していただいています。

ボランティア活動

私たちの活動は、社会人ボランティアのみなさんに支えられています。ボランティア活動に特別な資格は不要です。子どもたちの背景を理解し、安心して活動できるよう、プロジェクトごとに研修を設けています。

私たちの活動 ③

子どもを支える社会をつくる 広報・啓発活動

広報活動

子どもたちを取り巻く社会全体に社会的養護に対する理解を広め、私たちの活動を多くの方にサポートしていただくために活動しています。Web サイトや SNS などを使った情報発信、出版物の制作、メディアからの取材対応など多岐にわたります。社会へ問題提起と解決に向けた行動を促すための啓発イベント「コエール」を開催しています。

調査・研究

子どもたちの現状を正しく把握し、支援の在り方を提言するために、団体創立の翌年の2005年から調査・研究を実施しています。支援の効果検証、退所者の生活実態調査、親権者同意に関する実態調査などを行ってきました。2020年からは退所者の状況を10年にわたり個別に追跡するトラッキング調査を行っています。



毎年150以上の企業・団体のみなさまから ご支援をいただいています

ご支援のかたちには、資金援助のほか、不要な書籍によるご寄付、人材や商品、サービス、オフィス環境、ネットワークのご提供、子どもたちと接する社員ボランティア、就労支援プログラムなどさまざまです。詳しくは、「法人のみなさま」に向けたページをお読みください。



がんばるべきなのは 子どもたちではなく大人たちです

「がんばり次第で人生どうにでもなるよ、がんばって」
NPO を立ち上げたばかりのころの私は、子どもたちを応援するつもりで、こんな言葉をかけていました。しかし、貧困や虐待に苦しんできた子どもたちは、「自分のがんばりだけでは、どうしようもないことがたくさんある」「がんばっても、どうにもならない」と考えていました。親を頼れない子どもたちが抱える不安や絶望を、私はまったく理解できていなかったのです。
「親を頼れなくても、私は大丈夫」と、子どもたちが心から笑って言えるようになるためにがんばるのは、子どもではなく大人たちです。親を頼れない子どもたちが、ワクワクしながら自分の未来を描ける社会をつくるため、あなたの力を貸してください。



代表 林 恵子
津田塾大学卒業後、人材派遣会社に就職。2児の出産後、育児中にキャリアに悩み参加したビジネス研修で、児童養護施設を調査する機会を得る。
2004年 NPO 創立。著書『できるかも。——働く母の“笑顔”がつながる“社会起業ストーリー”』（英治出版）

ブリッジフォースマイルのあゆみ

2004 年 NPO 創立
2005 年 法人格を取得／生活必需品の寄付仲介、巣立ちプロジェクトを開始
2006 年 就職活動対策セミナーを実施
2007 年 アトモプロジェクト、ジョブプラクティスを開始
2008 年 ボランティア研修、自立ナビゲーション、調査・研究活動を開始／広報誌「Smile！」を創刊
2009 年 スマイルングプロジェクトを開始
2011 年 奨学金支援「カナエル」を開始／国税庁から認定を取得
2012 年 横浜市から事業受託／居場所「B4S PORT よこはま」を開設
2015 年 東京都から就労支援事業受託
2016 年 佐賀で事業を開始
2017 年 東京都から認定を取得／奨学金支援「カナエル」を終了
2018 年 佐賀県から事業受託／居場所「B4S PORT さが」を開設
2019 年 コエールを開始／熊本で事業を開始
2020 年 寄付仲介サイト「トドクン」を開始
2021 年 熊本県と熊本市から事業受託／居場所「B4S PORT くまもと」を開設
2022 年 江戸川区から事業受託／北海道で事業を開始
2023 年 世田谷区から事業受託／居場所「B4S PORT しもきた」を開設
東京都から事業受託／居場所「B4S PORT あきば」を開設
2024 年 相談支援、緊急短期的居住支援を開始
北海道から事業受託／居場所「B4S PORT さっぽろ」を開設

団体概要

名称	特定非営利活動法人ブリッジフォースマイル（東京都認定NPO4生都管 第1117号）
URL	https://www.b4s.jp
Email	info@b4s.jp
本部	東京都港区南青山3-1-30 PASONA SQUARE ☎ 03-6842-6766
横浜オフィス	神奈川県横浜市西区高島2-5-5-203 ☎ 045-548-8011
佐賀オフィス	佐賀県佐賀市駅南本町5-5-506 ☎ 0952-26-8166
熊本オフィス	熊本県熊本市中央区南千反畑町13-5 ☎ 096-288-4627
北海道オフィス	北海道札幌市豊平区豊平5条3-2-27-C3
世田谷オフィス	東京都世田谷区北沢2-10-15-614 ☎ 03-6407-0901
秋葉原オフィス	東京都台東区柳橋1-6-2-401 ☎ 090-2016-4175